

特別展

最先端 泌尿器科診療

—腎移植とロボット手術—

2019年4/20(土)~7/15(月・祝)



展示監修

田邊一成 氏 (公開講座講師)

東京女子医科大学泌尿器科学教室 教授 講座主任
東京女子医科大学病院 病院長

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日・第4火曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
入館料 高校生以上 300円(260円)、中学生以下 無料
※カッポ内は20名以上の団体料金
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方と
その介助者(1名)は無料

 掛川市吉岡彌生記念館
YAYOI YOSHIOKA MEMORIAL HALL

〒437-1434 静岡県掛川市下土方474
TEL0537-74-5566 FAX0537-74-4841

掛川市吉岡彌生記念館 [検索](#)

特別展

最先端 泌尿器科診療 —腎移植とロボット手術—

近年の医学研究分野の進歩は目を見張るものがあり、泌尿器科学もその例外ではありません。

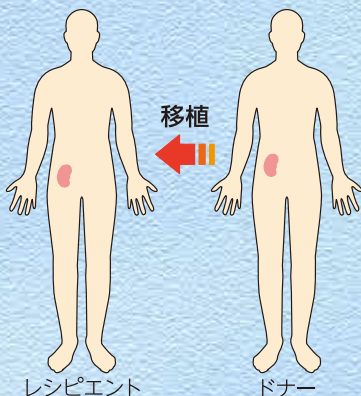
特に近年、泌尿器科学で大きく進歩した分野として、腎移植、ロボット手術、がん化学療法・免疫療法、排尿障害治療、結石治療があげられます。

今回は特に東京女子医科大学病院が得意としている、腎移植とロボット手術について取り上げたいと思います。

腎移植は、ここ20年の間に長足の進歩を遂げ、今や10年後も移植した腎臓が順調に機能している確率は90%を超えるようになってきました。免疫抑制法も著しく進歩し、今後10年の間に免疫抑制剤は必要なくなる可能性も出てきました。腎移植後の患者さんは、今や出産も可能となり、ほぼ健常人と同じ生活、生存が見込めるようになってきています。

また、ロボット手術もこの15年の間に大きく進歩した分野です。日本における保険適応は前立腺がんがまず適応になり、次に腎がんの部分切除が適応となりました。平成30(2018)年には外科系を中心に12疾患がようやく保険適応となりました。東京女子医科大学病院泌尿器科では平成23(2011)年よりロボット手術を導入し通算1000例を超え、平成29(2017)年は日本で一番の症例数(ダイヤモンド社統計より)となりました。

この特別展では、これらの分野について東京女子医科大学病院泌尿器科での経験をもとにご紹介いたします。



ペイシェントカート
(ロボットが術者の手となり手術をする)

 掛川市吉岡彌生記念館
YAIYOI YOSHIOKA MEMORIAL HALL

〒437-1434 静岡県掛川市下土方474
TEL0537-74-5566 FAX0537-74-4841

展示内容

- 腎臓とは
- 腎移植について
- ロボット手術とは
- 泌尿器科でのロボット手術の実例



■関連イベント 公開講座

近年大きく進歩した泌尿器科学の分野の中から、東京女子医科大学病院が得意としている「腎移植」と「ロボット手術」についてお話しします。

日時● 4/20(土) 13:30~15:00

講師● 田邊一成 氏

東京女子医科大学泌尿器科学教室 教授 講座主任
東京女子医科大学病院 病院長

会場● 東京女子医科大学看護学部大東キャンパス(掛川市)

受講料● 500円(記念館見学券付き)

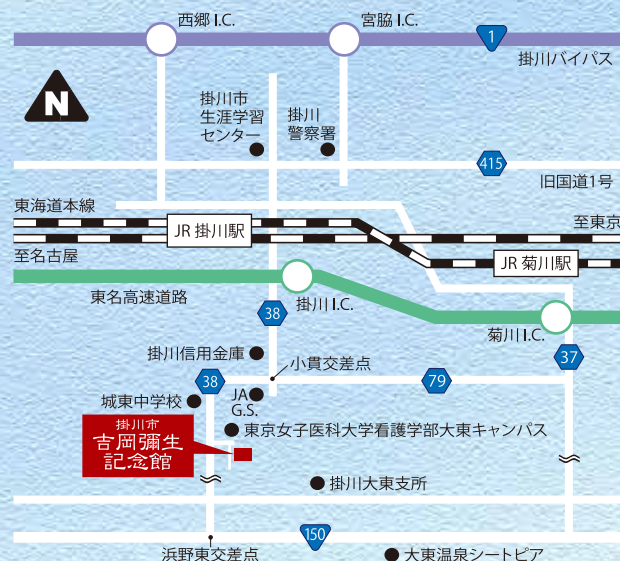
定員● 100名

申込方法

電話またはFAXでお申込ください。FAXの方は、「4/20講座申込、氏名、住所、電話番号」を明記ください。

注意事項

- 個人情報、本講座受講管理業務及び講座案内のために利用させていただきます。
- 当日は取材が入ることがあります。また、会場の様子を撮影した写真を、広報等(ホームページやパンフレット等)に使用することがあります。ご告知おください。



交通案内

JR掛川駅から静鉄バス「大東支所」または「浜岡営業所」行きで約20分、「東京女子医大入口」にて下車、徒歩5分。
東名高速道路「掛川」インター、または「菊川」インターより約15分。